

西 区 を 豊 かに

新潟市西区自治協議会広報紙



2013年
10月1日発行
第7号

発行者
新潟市西区自治協議会 会長 真嶋 民雄
事務局
〒950-2097
新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内
TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650
E-mail: chiki.w@city.niigata.lg.jp



西区の宝物をたくさん詰め込んだロコマルです。新潟スイカ、赤塚大根、黒崎茶豆、佐島の白鳥、その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽を乗せました。

2013. 10/27日

第1回 西区アートフェスティバル

音楽の力、西区の宝

会場：黒崎市民会館 1階ホール
(新潟市西区黒崎300番地)

入場無料 定員300席 (全席自由、満員の場合は入場できない場合がございます。)

主催：西区自治協議会
協賛：新潟市教育委員会

<日時・場所>
日時 平成25年10月27日(日)
午前10時～午後4時
(開場 午前9時30分)
会場 黒崎市民会館1階ホール

- 出演団体
1. 山田校区ふれあい協議会地域芸能保存会(黒崎太鼓)
 2. 青山小学校合唱部(合唱)
 3. 小針中学校合唱部(合唱)
 4. 坂井輪中学校吹奏楽部(合奏)
 5. 新潟清心女子中学・高等学校(ハンドベル部)(ハンドベル)
 6. 新潟大学室内合唱団 カンマーコール(合唱)
 7. 西内野吹奏楽団(合奏)
 8. 合唱団 円(コーラス まどか)(合唱)
 9. アンサンブルフィーデル(合奏)
 10. 民謡 住月会(民謡)
 11. 新潟楽所(雅楽)
 12. 赤塚伝統芸能保存会(太々神楽)
 13. 青山翔龍会(万代太鼓)

「アートを通して西区民の一体感をつくりたい。アートを表現する団体に発表の場を提供して、皆さんから知ってもらいたい。学術・文化豊かな西区のパワーを発信したい」こんな思いから企画された西区アートフェスティバル。前号では簡単に開催日をお知らせしましたが、今回は出演団体など詳細を特集します。

「アートには、音楽、芸能、絵画など様々な分野の表現活動が含まれますが、第1回は音楽、芸能分野の団体によるアートフェスティバルです。音楽が大好きな小学校から大学までの児童や生徒、学生たちが出演します。また、様々なジャンルの音楽芸能活動をしているグループや伝統芸能などの保存に努めている団体も出演します。」



皆様から素晴らしい発表をご覧いただき、出演者のパワーを感じ取って欲しいと思います。当日は、来場された方々のたくさん笑顔と溢れる音楽のシャワーに会場が包まれるでしょう。

「近所にお住まいの方はもちろん、西区にお住まいではないけれど、音楽が大好きなお友達などお誘いあわせのついでにお越しください。皆様のご来場をお待ちしています。」

西区アートフェスティバル「音楽の力、西区の宝」と題した音楽祭が開催されます。舞台上上がるのは、西区で音楽を口頭から愛好している人や伝統芸能の保存に取り組む人など、心から音楽を愛している方々です。彼らが奏でる音は一つの方向ではありません。天に向かっていたり、隣の人にさざやいたり、あるいは時を超えて演じられます。そんな音楽の持つ多様な魅力に秋の一日浸ってみませんか。

第1回 西区アートフェスティバル

「音楽の力、西区の宝」

来て見て聴いて、西区の宝を発見!!

主催者を代表して

プロジェクトチーム3
部長 丹治嘉彦

農家レストラン

Conna Conna

農家レストラン。コハンは、太田農園が栽培する低農薬で旬の美味しい食材を使った料理が魅力です。

「新鮮な野菜をより多くの人に食べてほしい」と、シェフの井浦さんが腕を振るう冷製パスタは、古代米を練り込んだもちもちとした手作りの麺と季節の野菜が特徴です。

気軽に立ち寄り、食事ができるほか、イベントも行っています。素材を活かしたやさしい味の料理を食べに足を運んでみてはいかがでしょうか。(白木)

住所：新潟市西区赤塚4426(佐湯公園から歩いて約5分)
TEL: 090-7714-3039
HP: <http://akatsukashuraku.com/>

とっておきの私の一枚

● 武田 春夫さん

一言コメント
● 日が落ちて 幼き頃の母の呼ぶ声 おなかグー そんな気持ちにさせられました。

「新潟市指定文化財 民家旧宅(旧武田家住宅)」

うちのコミ協

毎年6月の定期総会で事業計画等を決め、多彩な事業を実施している。活動が有明地区と浦山地区に分散されるという悩みはあるが、閑屋分水堤の花文字花壇作り、地域別のお茶の間開催、信濃川クリーン作戦や通学路の環境美化運動、夏祭りやふれあいの集い等、地域全体を網羅し、様々な世代と多くの人が参加できる「地域の連携・ふれあいの場」づくりを目指している。

これらの主要事業は、年三回発行の「コミ協だより」に掲載し、地域住民への情報発信を行い、一体感と参加意識の高揚を期している。

(青山)コミ協会長 村川順三

8/4(日)西区一斉クリーンデーにて

＊福祉・環境美化・ふれあい・防災等多様な事業を展開＊

お知らせ

いじめは、全国的に後を絶たず、新潟県内や大津市の事件について多くの人が心を痛めています。講演を聞き、私たち大人はどう行動したらよいかを学びませんか。

保護者の方をはじめ、PTA、青少年育成協議会、民生・児童委員、地域の方多数の参加をお待ちしています。

講師 花澤 佳代さん
(新潟青陵大学看護福祉心理学部福祉心理学准教授)

主催 西区自治協議会
日時 平成25年12月7日(土) 午後1時30分から 3時30分まで
会場 西新潟市民会館 2階多目的ホール

編集後記

広報紙第7号はいかがでしたでしょうか？自治協議会の取組みを、わかりやすくお伝えするために紙面づくりをしています。表紙のアートフェスティバルは、個人的にもとても楽しみにしています。子どもたちの歌声や合奏がみなさんの心に感動を呼ぶことでしょうか？ご家族、地域の方々お誘い合わせの上、ぜひご参加下さい。(宗村)

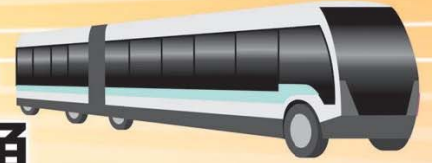
募集のご案内

広報紙や自治協議会活動についての意見

● 送付先/住所、氏名、連絡先をお書き添えの上、広報紙1面の事務局へ送付し、送付先は電子メールにてお願います。

とっておきの私の一枚

● あなたの「目録の写真(家族・ペット・風景イベント等)に住所・氏名(氏名は必須、ペンネームがあればペンネーム掲載)、連絡先・写真タイトル、一言コメントを添えて応募ください。電子メール可。採用者には千円の図書カードを贈呈。● 応募された写真は返却しません。● 締め切り11月末日(欠号掲載予定) ● 送付先/広報紙1面の事務局まで



※BRT(バス高速輸送システム)

西区から考える BRTと公共交通

西区自治協議会では前期からBRT問題について討議し、市長に「区民への十分な説明を」と要望してきました。区民の理解を広げるために、BRTについての代表的な質問に新潟市の担当課から回答をいただきました。



BRT
「バス高速輸送システム」の
内容とその導入理由はなに？

BRTは、従来のバスを一新するための連節バスの導入や走行性の向上などにより、多くの人を効率的に運ぶ「次世代型バスシステム」です。
当初導入時点では、運行区間を新潟駅～青山までとし、現状の交通環境のなか、連節バス4台と一般のバス20台程度で運行します。
BRTの運行により、現在まちなかで過剰気味に走行しているバスを集約することで、生じた余力を郊外路線の増便などにまわせます。



BRT導入による新バスシステム
では乗客の負担となる「乗り換え」
がどうして必要なの？

これまで郊外からまちなかまでの長い距離を1本の線で結んでいた路線を、網のようにネットワークで覆う路線網に再編するため、乗り継ぎが生じることになり、バスを乗り換える必要があります。
なお、乗り換えの負担は
①雨や風を気にせず待てる交通結節点を整備する。
②乗り換えるバスまでの距離を短くする。
③出発時間や走行位置を把握できる情報案内の充実を図る。
などで対応します。



新バスシステムではなぜ
「連節バス」を導入するの？
「これまでのバスではダメなの？」

連節バスの特徴は、通常のバス約2台分の輸送力で大量輸送が出来ることです。BRT導入区間を既存のバスのみで対応する場合、朝夕などのピーク時に乗りこぼしが発生しますが、輸送力の高い連節バスを導入することでこれらに対応することが出来ます。
また、バス1台、運転手1人当たりの輸送力を高め、そこで生じた運転要員などの余力を郊外にまわすことが出来ます。



西区の青山地区に予定されている乗り換え場所はどこ？
どんな施設になるの？



予定されている導入までのスケジュールは？

平成27年夏前を目標している、BRT当初導入時までの主要スケジュールは以下のとおり予定しています。

- 八上路線再編(平成25年度～26年度)
 - ・再編計画の検討・協議等
 - ・地域内交通の再構築
 - ・地域公共交通検討会議の開催
- BRT導入(平成25年度～27年度)
 - ・連節バス4台導入
 - ・乗り換え拠点(交通結節点)の整備
 - ・走行空間の整備、情報案内システムの整備



要望書を提出する真嶋会長(左前)と近藤部会長(左奥)

西区自治協議会での決定を受け、8月6日、新潟市に9月市議会での連節バス購入関連議案提出の再考を促す要望書を提出しました。(写真)自分の問題であると捉え、積極的に情報を入手する姿勢が大切と考えます。各種説明会に参加しましょう。

第3部会長 近藤 武雄

ジチキョウ 自治協ってなに? その2



コミュニティ協議会(以下、コミ協)と自治協議会はなにが違うのでしょうか



コミ協は、自治会・PTA・老人クラブなどが集まってできた任意の住民組織で、自ら各地域の課題を解決しています。一方の自治協は市の附属機関で、各コミ協やNPO、公共的団体から選出された委員で構成されています。こちらは、市と協働して、西区内の様々な地域課題の解決に向けての取組みを行っています。



自治協は具体的にどんな活動をしているのですか。



西区の特色ある区づくり事業については、自治協の意見を区に伝えています。また、自ら企画・実施する自治協提案事業では、これまで見守り支援に関する講演会やこの自治協広報紙「西区を豊かに」の発行も行ってきました。今年度は1面で紹介した第1回西区アートフェスティバル、4面のいじめをテーマにした講演会も計画しています。



自治協の議論はどのように行われるのですか。



西区では、様々な分野の課題について、毎月開催される3つの部会と3つのプロジェクトチームで議題を決め、自由に議論します。そして、議論の結果を自治協の本会議で報告し、そこで審議をしています。この本会議は傍聴することが出来ます。



今、第1部会
部会が
防犯、防災、
自然環境、
住環境



部会長 佐野 起夫

防災課題の一層の絞り込みを進めるため、事務局から西区の防災計画や具体的な施策についての説明を受け、活発な議論がなされました。
地震による被害で優先的に議論したのは津波被害についてです。本来は揺れが最初に起こり、それが原因で様々な災害が誘発されるので、西区各地域の地形や地質の面から、被害を総合的、複合的に考える必要があるとわかりました。
津波の河川湖上による氾濫、揺れによる家屋や塀の倒壊、道路の地割れや陥没等を想定した、防災対策が必要となります。例えば、地震災害の周知、発生後の避難・避難所の確保・運営、食料や必需品の補給等、様々なあります。
いずれにしても、平時から自分自身で考え、対策を立てる事が大切です。

今、プロジェクト
部会が
区制のあり方、
区役所整備及び
区内施設の新設・
用途変更



部会長 福島 富

区制のあり方については、篠田市長が来年から複数の区で「区長公募を行う」と言っており、この問題を取り上げた勉強会を7月に実施しました。
その中で、「予算や人事等の権限が区にもっと移されないなら区長公募をする意味はないのではないか」「公募区長は誰が選考するののか。大阪では選考委員会をつくった」というが、実際は市長の意向で決められている。住民自治の立場から区民の意向を反映して決めたいと自治協から要望したらどうかなどの意見が出されました。
西区役所庁舎整備事業については、今建設中の新館が今年11月竣工、12月引渡し、来年1月業務開始の予定です。その後、本館改修と分館耐震補強・改修が行われる予定です。